

いつも大変お世話になり、誠にありがとうございます。

ご無沙汰している方も多いと思いますが、これまで昨年の衆議院議員選挙の厳しい結果を受けて、今後の方向性について様々考えてきました。多くの方々のご意見も拝聴してまいりました。

そして、「**京都と日本のために政治を志した以上は、刀折れ矢尽きるまでやる**」という結論に至りました。

ただ、際限なく混乱しつづける政党から離党して、**裸一貫、無所属でこの京都4区で引き続き活動してまいります。**

私は、永らく民主党時代から、外交・安全保障や憲法の問題で、党が分裂している状態を憂いてきました。それは度々公言してきました。党内でも発言してきました。ときには、党と異なる方針を選挙でも訴えてまいりました。

昨年の希望の党に対して、多くの皆さんが首を傾げられたのはよく理解できます。しかし、私は、国家の安全や国の最高法規について、同じ考えをもつ者が結集し、異なる考え方をもつ者と分かれることは、当たり前のことであり、長い目では、国民に分かりやすいのではないかと考えました。

ところが、この期に及んでも、未だに党内がゴタゴタしています。これでは話になりません。党内を立て直す道もあります。しかし、すでに政治生命が限界にきている私としては、場合によっては、次が最後の戦いになるかもしれません。ここは、勝手を許していただき、政治を志す「北神」という一人の男の訴えを貫かせていただけませんかでしょうか。

大好きな京都、大好きな日本のために貢献するため、このいばらの道しか残されていません。

皆様のご理解と、なお一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。